

平成22年度 神石高原町立神石小学校 学校評価自己評価表(中間評価)

領域	中期経営目標	短期経営目標	取組指標(実践内容)	成果指標(達成状況)	評価の方法	対象	評価基準				改善策	担当者
							上回って達成	達成	やや不十分	不十分		
							4	3	2	1		
確かな学力(知)	児童一人一人に基礎・基本の学力を着実に定着させる。 【教務部】	1 国語・算数の基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着をはかる。	11 全国学力調査、基礎・基本定着状況調査の分析、授業改善	111 授業改善計画を策定	授業改善計画立案	担当	改善計画を立案し、職員研修を行い計画の周知徹底を図った。	国語・算数の授業改善計画を立案した。	国語または算数の授業改善計画を立案した。	授業改善計画を立案しなかった。	・改善計画がCRTの結果に反映するようにする。またCRTの結果をもとに次年度の計画に生かす。	多田・坂田
			12 CRTの実施とその分析、授業改善計画を立案	121 全国・県平均を上回る児童、国語80%以上、算数70%以上	CRTテスト	児童	国語80%以上かつ算数70%以上の児童100%	国語80%以上かつ算数70%以上の児童80%～99%	国語80%以上かつ算数70%以上の児童69%～79%	国語80%以上かつ算数70%以上の児童60%	・CRTテストの結果から改善策を立案する。	
			13 家庭学習の充実を図る。家庭の協力を得るため、学校通信・学級通信に記事を掲載	122 次年度の授業改善計画に反映。	各学年改善データ提出	担任	すべての学年で改善データ提出	すべての学年で国語または算数の改善データ提出	半数以上の学年で国語または算数の改善データ提出	データ提出をしたのは半数以下の学年	・CRTテストの結果をもとに、課題のある設問(観点・領域)について各学年ごとに指導方法を提出する。	
				131 (15+10×学年)分間の家庭学習をする子80%以上	アンケート集計のデータ	児童	90%の児童	80～90%の児童	60～79%の児童	60%未満	・家庭学習の手引きを作成し、時間の確保と学習内容の充実を図る。	
		2 書く活動を通して、表現力・思考力を高める。		132 学期に各3回掲載する。	集計のデータ	担任	4回以上	3回	2回	1回以下	・目標とする掲載回数を意識して計画的に発行する。また記事内容の充実を図り、家庭と連携した取り組みとする。	
			21 研究授業を教員が相互評価をするための授業評価カードを作成・実施	211 授業評価カードを作成し、参加者が評価をする。回収率90%以上	評価カードの回収	教職員	回収率95%以上	回収率90%以上	回収率70%以上	回収率70%未満	・授業評価表への記入によって授業を振り返り、互いに高め合うという意識を持ち、研究授業をすすめていく。	佐藤・千葉
豊かな心(徳)	様々な体験を通して、思いやり等の豊かな心を育てる。 【保健生徒指導部】	3 実態に応じ、やりきらせることで、自己肯定感を感じる活動を仕組む	31 個別の指導計画をもとに、校内ケース会議を学期に1回持ち、全教職員が児童の理解に努める。	311 課題のある児童が変容したと、肯定的評価をする教職員80%以上	アンケート集計のデータ	教職員	課題のある児童が変容したと回答した教職員90%以上	課題のある児童が変容したと回答した教職員80%以上	課題のある児童が変容したと回答した教職員50%以上	課題のある児童が変容したと回答した教職員50%未満	・具体的目標を設定し、適切な支援をしていく。	千葉・大崎
			32 すべての個に応じた課題を用意し、継続してやりきらせる。	321 全校児童が、自分がやりきったことを文章や絵、発表等で表現することができる。	集計のデータ	児童	児童の肯定的評価100%	児童の肯定的評価80～99%	児童の肯定的評価60～79%	児童の肯定的評価59%以下	・児童一人一人に見通しがもてる目標をもたせる。	
		4 地域教材を取り入れた体験学習に取り組む。	41 地域の人材や施設等を活用した体験学習の実施	411 全校目標数 12単元	集計のデータ	担任	13単元以上	12単元	8～11単元	7単元以下	・2学期後半～3学期に計画を予定しており、年度末には目標達成の見込み。	坂田・三宅
			42 地域教材を題材に探究型総合的な学習・生活科学学習を学習発表会に発表	421 地域素材発表プログラム数2	集計のデータ	担任	プログラム数3以上	プログラム数2	プログラム数1	プログラム数0	・2学期後半～3学期に計画を予定しており、年度末には目標達成の見込み。	
	健やかな体(体)	5 自分から進んで体をきたえ、やりぬく力を育てる。 【保健生徒指導部】	51 新体力テストの2回実施	511 5月テスト県平均を上回る項目数が8項目の内、5項目の子が50%	集計のデータ	児童担任	60%以上	50%以上	40%以上	40%未満	・さらに向上するために、セット運動パートⅡを定着させ運動タイムの充実を図る。	三宅・赤木
				512 10月のテスト結果が5月の記録を4項目上回っている子が80%	集計のデータ	児童	90%以上	80%以上	60%以上	60%未満	・さらに向上するために、セット運動パートⅡを定着させ運動タイムの充実を図る。	
			52 課題解決のための運動タイムの充実 体育授業に計画的にセット運動を位置づける	521 課題・目標を意識したチャレンジカードを作成。自己評価が肯定的な子60%	カード作成集計のデータ	児童担任	70%以上	60%以上	50%以上	50%未満	・新体力テストに向けての取り組みを全体場で意識づけられたこと、がんばることへのポイントチェックを各学級で取り組んだ。	
		6 健康で安全な望ましい生活態度や生活習慣を育てる	61 「生活ふりかえりカード」で、自分の生活や4S(整理・整頓・清潔・清掃)を振り返り、意識・実践させる。	611 カードの集計結果、身についている児童が60%	集計のデータ	児童	児童の肯定的評価80%以上	児童の肯定的評価60～79%	児童の肯定的評価40～59%	児童の肯定的評価40%未満	・毎日の振り返りの時、頑張りを認めたり、指導したりする。	本田・大崎
信頼される学校	保護者・地域に信頼される開かれた学校をつくる。 【教務部】	7 地域・保護者に情報提供をし、地域の声を受け止める。	71 HPの各ページの充実を図る。	711 保護者や地域の声を掲載、年間3回以上	記録	担当	3回掲載し、内容の充実を図り積極的に情報提供した。	2回掲載し、情報提供した。	1回掲載し、情報提供した。	1回も掲載していない。	・ふれあい神石まつりや学習発表会などについての感想を掲載し、積極的に情報提供する。	桑原・田中・赤木
			72 学校だよりを発行し、地域に学校情報を発信する。	721 学校だよりを校区全戸配布し、公民館に掲示する。	記録	担当	毎月学校だよりを全戸に配布し公民館に掲示した。	ほとんどどの学校だよりを全戸に配布し公民館に掲示した。	数回の学校だよりを全戸に配布し公民館に掲示した。	全くできてない。	・全戸に配布し、公民館に掲示した。	
			73 学校に対する声に誠実に対応し、報告・連絡・相談の徹底を図る。	731 電話内容、対応をメモし、誠意を持って行う。	観察アンケート	教職員	常に電話の相手や来校者に対して誠意を持って対応している。	ほとんどの電話の相手や来校者に対して誠意を持って対応している。	時々電話の相手や来校者に対して誠意を持って対応している。	ほとんど電話の相手や来校者に対して誠意を持って対応していない。	・確実にメモを取り、連絡する。(校内共通のメモ用紙を作成する)	
		8 教職員が学校経営に参画する意識を高める	81 課題(学校、自己)を持って研修に臨む	811 1人年間1回以上提言型の研修参加レポートを作成。(A4版)	記録	担当	1.2回以上	1.0回以上	0.8回以上	0.8回未満	・他校の職員の名前・所属を覚える。	佐藤・多田
			82 校内研修に参加型研修を盛り込む	821 参加型研修を年間8回実施。	記録	担当	8回以上	8回	6～7回	5回以下	・電話には早く出るようにし、周囲の者は静かにする。	
											・明るく、笑顔で接する。	
											・内容のある提言型レポートの作成を心がけるように呼び掛け、研修に生かす。すべての職員がレポート提出する。	
											・指定研修においても参加型研修を取り入れて、研修を行う。	

中間評価の結果